

共に育ち 共に学ぶ

障害理解授業について

障害理解授業とは

共生社会に向けて、多様な立場の人を理解し、互いに認め合い、自然な関わり方を学ぶための授業です。

本校では、特別支援学校に通っている児童生徒が、自分の住んでいる地域の小・中学校の授業や行事などに参加し、同年代の児童生徒と交流する**居住地校交流**や、学校同士で交流する**学校間交流**を実施しています。

障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが一緒に学び、交流を深めることは、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生活していく、共生社会を目指すために、とても大切なことです。

居住地校交流での事前学習の場合



最初の障害理解授業

特別支援学校や交流する児童生徒について紹介し、「同じところやちょっと違うところがあるけど、一緒に勉強する日が楽しみだな」という気持ちで交流できるように学習します。交流校のニーズや学年の実態に応じた障害理解授業を、担当者同士で一緒に相談しながら計画します。

4年生の障害理解授業

これまで特別支援学校の児童生徒と交流してきた経験を基に、「どうして〇〇なの？」「〇〇なときは、どう関わったらいいの？」など、疑問に感じていることを取上げながら、より一層、特別支援学校の児童生徒を理解して交流活動が充実するように学習します。また、学級でも一人一人のよさを認め合いながら生活していけるように、担任の先生とニーズを確認しながら障害理解授業を計画していきます。

交流していない学校でも



共生社会の実現を目指し、道徳や特別活動等の学習にも協力していきたいと思っております。

担任の先生と相談しながら一緒に授業を考えていきますので、是非お問合せください。



秋田県立大曲支援学校せんぼく校 TEL 0187-42-8568